

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0903006

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ○事業期間 平成16年度～平成27年度 ○総事業費 101,464千円(1,014,640千円) ○事業内容 増養殖施設整備(囲い礁) 雄武中部地区、雄武南部地区、雄武北中部地区、雄武幌内地区整備に係る地元負担金
基本施策	3	水産業の振興	事業優先度	A		
単位施策	1	水産資源の保護・増大	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	雄武地区特定漁港漁場整備事業(漁場整備)		見直し年度			
事業期間	平成20年度～平成24年度		担当課	9 産業振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	増養殖場整備面積		関係課	#N/A		
事業目標	15,700㎡		ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業		
住民参加 住民協働	2		関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計画 内容	増養殖施設整備(ウニ囲い礁)に係る地元負担金 ・雄武南部地区 A=6,000㎡ ・雄武北中部地区 A=5,000㎡ ・雄武幌内地区 A=12,000㎡ ○総事業費 38,524千円 (385,240千円) ・起債 17,500千円 ・漁組負担金 7,704千円 ・一般財源 13,320千円	増養殖施設整備 ・雄武南部地区 A=4,700㎡ ・雄武北部地区 深淺調査、実施設計 ○総事業費 14,600千円 (146,000千円) ・起債 10,500千円 ・漁組負担分 2,920千円 ・一般財源 1,180千円	増養殖施設整備 ・雄武南部地区 A=2,400㎡ ・雄武北中部地区 深淺調査、実施設計 ○総事業費 9,200千円 (92,000千円) ・漁組負担分 1,840千円 ・一般財源 7,360千円	増養殖施設整備 ・雄武北中部地区 A=1,806㎡ ○総事業費 5,124千円 (51,240千円) ・漁組負担分 1,024千円 ・一般財源 4,100千円	増養殖施設整備 ・雄武北中部地区 A=3,443㎡ ○事業費 8,800千円 (88,000千円) ・地方債 7,000千円 ・漁組負担分 1,760千円 ・一般財源 40千円	増養殖施設整備 ・雄武幌内地区 深淺調査、実施設計 ○事業費 386千円 (3,859千円) ・漁組負担分 77千円 ・一般財源 309千円	
	事業費(千円)	38,524	14,600	9,200	5,124	8,800	800
計画 事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	17,500	10,500			7,000	
	その他	7,704	2,920	1,840	1,024	1,760	160
一般財源	13,320	1,180	7,360	4,100	40	640	
実績 事業費	事業費(千円)	30,158	8,000	8,300	5,124	8,348	386
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	10,700			4,100	6,600	
その他	6,030	1,600	1,660	1,024	1,669	77	
一般財源	13,428	6,400	6,640		79	309	
関連 事項	(特定財源の詳細等) ・起債 ・漁組負担金	【評価・実績】	(実施内容等) ・起債 0 ・漁組負担金 1,600千円 造成面積 A=3,100㎡に変更 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・起債 0 ・漁組負担金 1,660千円 造成面積 A=2,900㎡に変更 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・起債 4,100千円 ・漁組負担金 1,024千円 造成面積 A=1,806㎡ ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・起債 6,600千円 ・漁組負担金 1,669千円 造成面積 A=3,443㎡ ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
			(実施内容等) ・漁組負担金 77千円 雄武幌内地区地先 1.2ha 深淺調査、実施設計 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持				
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	増養殖場整備面積 4,700㎡	増養殖場整備面積 2,400㎡	増養殖場整備面積 2,500㎡	増養殖場整備面積 2,500㎡	調査箇所 1地区
		年度達成率	55%	90%	100%	95%	48%
		全体達成率	21%	42%	56%	77%	78%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	雄武地区特定漁港漁場整備事業(漁場整備)	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	水産係長	中村文隆

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	漁業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	増養殖場整備面積								
【抱える課題やニーズは】	資源量の減少による漁業生産額の減	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	餌料環境の向上を図り、良好な生息環境を創出し資源量を回復させる。	① 増養殖場造成面積 ※平成24年度は調査設計を計画していることから調査地区数を指標とした。	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1地区</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1地区</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	1地区	実績値	1地区	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	1地区										
実績値	1地区										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	漁獲量の増による漁家経営の安定化	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	餌料及び生育環境の向上を図るための藻場造成を行うため、増殖礁(囲い礁)の整備する。	北海道が実施する漁場整備(増殖礁)事業に対する地元負担金(事業費の10%)の支出									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	ウニ、コンブなど沿岸漁業の生産量が減少傾向にあることから、水産資源の保護増大を図り持続力のある水産業の確立を図るため、町が支援する必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	増殖礁整備により、コンブなどの海藻類が繁茂し餌料環境が改善され、ウニなどの水産資源の増加が見られている。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	適宜、事業主体である北海道と協議のもと進めています。また、地元負担金については負担割合が定められており、コスト削減の余地はない。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

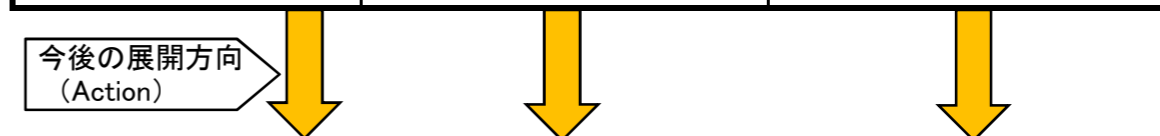
公平	判断の理由	水産基盤整備事業に係る地元負担金については、条例に基づき受益者分担金(負担額の20%)を徴収している。
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり施設整備が進められており、事業効果も表れている。		



継続/現状維持		
沿岸域における豊かな生態系の維持・回復が図られる事業であり、漁獲可能資源の増大はもとより、自然環境保全にもつながることから、持続力のある水産業を確立するため、継続して実施する必要がある。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止